



安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当

TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂日 2023/09/13
SDS整理番号 23054380

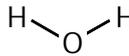
製品等のコード : 2305-4380

製品等の名称 : 純水

推奨用途 : 試薬

参考: その他の用途(当該製品規格に限定されない一般的な用途。規格により用途は相違。)
洗浄用、溶媒、添加物など

使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと



2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分に該当しない
自然発火性液体 : 区分に該当しない
自己発熱性化学品 : 区分に該当しない
水反応可燃性化学品 : 区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分に該当しない
急性毒性(吸入:ミスト) : 区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分に該当しない
呼吸器感受性 : 区分に該当しない
皮膚感受性 : 区分に該当しない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分に該当しない

シンボルマーク、絵表示 : 該当なし

注意喚起語 : 該当なし

危険有害性情報 : 該当なし

注意書き

【安全対策】
保護眼鏡、保護手袋、保護衣、呼吸用保護具を着用すること。

【救急措置】

該当なし

【保管】

直射日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管すること。

【廃棄】

内容物は下水放流し、容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託

すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない(分類対象外も該当)」又は「分類できない」である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	：	化学物質
化学名	：	純水 (英名) Purified water、 Water (EC名称、TSCA名称)、 Water, purified
成分及び含有量	：	純水、100%
化学式及び構造式	：	H ₂ O、構造式は上図参照(1ページ目)。
分子量	：	18.02
官報公示整理番号	化審法	：
	安衛法	：
	：	既存化学物質
	：	既存化学物質
CAS No.	：	7732-18-5
EC No.	：	231-791-2
危険有害性成分	：	特になし

4. 応急措置

吸入した場合	：	気分が悪い時は、医師の診察、手当を受ける。
皮膚に付着した場合	：	必要に応じて、皮膚を流水又はシャワーで洗う。
目に入った場合	：	異常を感じた時は、水道水などの清浄な水で数分間注意深く洗う。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。 その後も洗浄を続ける。 眼刺激が持続する時は、医師の診察、手当を受ける。
飲み込んだ場合	：	直ちに、ミネラル水、食塩水または水道水を飲む。 気分が悪い時は、医師の診察、手当を受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状	：	情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	：	この物質は不燃性。周辺火災に適応した消火剤を使用する。 周辺火災に適した消火剤を使用する。 散水、噴霧水、泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂など
使ってはならない消火剤	：	特になし
特有の危険有害性	：	特になし
特有の消火方法	：	風上から消火活動をする。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	：	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	：	作業者は必要に応じて保護具を着用する。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 風上に留まる。 低地から離れる。
環境に対する注意事項	：	特になし
回収、中和	：	雑巾、モップ、紙などで吸い取り、容器に回収する。 後処理として、漏洩場所は乾燥させる。
封じ込め及び浄化の方法・機材	：	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	：	漏洩場所の滑りを防止するため、こまめにふいて乾燥させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	：	
技術的対策	：	本製品を取扱う場合、必要に応じて保護具を着用する。
局所排気・全体換気	：	換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項	：	すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。 飲み込まない。 眼に入れない。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。
接触回避	：	高温体との接触を避ける。
保管	：	
技術的対策	：	保管場所には、本製品を取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

混触危険物質 保管条件	： 禁水性物質、水反応可燃性物質 ： 容器を密閉して冷暗所に保管する。 食品や飼料から離して保管する。 開封したら、なるべく早く使い切る。 直射日光を避けて保管する。
容器包装材料	： ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス等

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	： 未設定
許容濃度（ばく露限界値、 日本産衛学会 ACGIH 生物学的ばく露指標）	： 未設定
設備対策	： 取扱場所には局所排気又は全体換気装置を設置する。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	： 保護マスク（防じんマスク）を着用する。
手の保護具	： 保護手袋（塩化ビニル製、ニトリル製など）を着用する。
眼の保護具	： 眼の保護具（保護眼鏡、側板付き保護眼鏡）を着用する。
皮膚及び身体の保護具	： 保護衣、顔面用の保護具を着用する。
衛生対策	： 取扱い後はよく手を洗う。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	
性状	： 液体
色	： 無色澄明
臭い	： 無臭
pH	： ほぼ中性（pH5～8。空気中の炭酸ガスを吸収すると弱酸性を示す）
融点	： 0
凝固点	： データなし
沸点	： 100
引火点	： 引火性なし
可燃性	： 不燃性
爆発範囲	： 爆発性なし
蒸気圧	： 6hPa（0）、23hPa（20）、74hPa（40）、199hPa（60）、 474hPa（80）、1013hPa（100）、1989hPa（120）
相対ガス密度（空気 = 1）	： データなし
密度又は相対密度	： 1.00 g/cm ³ （4）
比重	： データなし
溶解度	： メタノール、エタノール、イソプロピルアルコール、アセトニトリル に混和する。 塩酸、硫酸、硝酸、酢酸、アンモニア水に混和する。 トルエン、ヘキサン、ベンゼン、酢酸エチルなどの有機溶剤に 殆ど混和しない。
オクタノール/水分配係数	： 水のため対象外
発火点	： 発火性なし
分解温度	： データなし
粘度	： データなし
動粘度	： データなし
粒子特性	： データなし
GHS分類	
引火性液体	： 本品は不燃性液体であることから、区分に該当しないとした。
自然発火性液体	： 本品は不燃性液体であることから、区分に該当しないとした。
自己発熱性化学品	： 本品は不燃性液体であることから、区分に該当しないとした。
水反応可燃性化学品	： 本品は水であり、安定である（水との混触で可燃性ガスの発生がない）ことから、区分に該当しないとした。

10. 安定性及び反応性

安定性（反応性・化学的安定性）	： 通常の取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性	： アルカリ土類金属、アルカリ金属と激しく反応する。 水反応可燃性物質（赤リン、七硫化リン、アルミニウム粉、硫黄、亜鉛粉、 固形アルコールなど）と反応して可燃性の気体を発生する。）
避けるべき条件	： 日光、高温
混触危険物質	： 禁水性物質、水反応可燃性物質
危険有害な分解生成物	： 特になし

11. 有害性情報

急性毒性	： 経口	区分に該当しない。 ただし、無機塩類などをほとんど含有していないので、大量に飲み込むと腹痛、嘔吐、下痢、むかつき、頭痛、嘔吐、痙攣、意識障害などの症状が現れることがある。
	静脈	マウス LD50 = 25g/kg
	経皮	分類できない。
	吸入（蒸気）	分類できない。
	吸入（ミスト）	区分に該当しない。
皮膚腐食性/刺激性	： 区分に該当しない。	皮膚刺激性は極めて低い。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	： 区分に該当しない。	眼刺激性は低い。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	： 区分に該当しない。	呼吸器感作性は低い。 区分に該当しない。 皮膚感作性は低い。
生殖細胞変異原性	： 分類できない。	
発がん性	： 分類できない。	
生殖毒性	： 分類できない。	
特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	： 分類できない。	
特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	： 分類できない。	
誤えん有害性	： 分類できない。	

12. 環境影響情報

生態毒性		
水生環境有害性 短期(急性)	： 区分に該当しない。	有害性は極めて低いため、区分に該当しないとした。 本品は生命活動に必須な成分である。 本品は生態系に広く分布する成分である。
水生環境有害性 長期(慢性)	： 区分に該当しない。	急性毒性が区分に該当しないであり、生体蓄積性は低いと推定されるので、区分に該当しないとした。
残留性・分解性	： データなし	
生物蓄積性	： データなし	
土壤中の移動性	： データなし	
オゾン層への有害性	： 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	： 直接、下水に放流する。
汚染容器及び包装	： 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

国内規制（適用法令）	
陸上規制	： 特段の規制なし（非危険物）
海上規制	： 特段の規制なし（非危険物）
航空規制	： 特段の規制なし（非危険物）
国連番号	： 非該当
国連分類	： 非該当
品名	： 非該当
海洋汚染物質	： 非該当
MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送の有害液体物質の汚染分類	： 非該当
特別の安全対策	： 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法	： 非該当。 なお、令和6年4月1日、令和7年4月1日及び令和8年4月1日施行の
---------	---

